

元気でハツラツプレー 第6回庄原市民健康づくりグラウンドゴルフ大会

REPORT 4

上野総合公園で10月29日、第6回庄原市民健康づくりグラウンドゴルフ大会が開催されました。

この日、各地域の予選を勝ち抜いた精鋭150人が集結し、早朝から気迫あふれる熱戦が繰り広げられました。

当日の大会結果は次のとおりです。



●団体戦 順位表

	男性の部	女性の部
優勝	東城上Aチーム	庄原女性Cチーム
準優勝	庄原男性Dチーム	庄原女性Aチーム
第3位	庄原男性Bチーム	東城東Cチーム

●個人戦 順位表 ※敬称略

	男性の部	女性の部
優勝	松浦 康郎(小奴可A)	長谷 マスミ(庄原女性A)
準優勝	生熊 剛士(東城上A)	渡部 和江(庄原女性C)
第3位	熊原 秀穂(比和男性)	花田 弘子(東城東C)
第4位	瀬戸 照静(八幡B)	土居 政子(高野女性)
第5位	藤本 武(庄原男性D)	関 庶江(東城上C)

ゲートボールを通じ交通安全を学ぶ 第1回東城交通安全協会ゲートボール大会

REPORT 5

高齢者の交通事故抑止と健康維持を高めることを目的としたゲートボール大会が9月26日、東城ふれあい村で開催されました。

東城交通安全協会が主催するこの大会に、8チーム40人が参加しました。はじめに行われた交通安全講習では、東城交番の赤間伸好所長が、高齢者の事故被害の現状と交通安全に関するポイントを分かりやすく説明。参加者は、真剣に耳を傾けました。

その後行われたゲートボールの試合は、各コートで熱戦が展開。競技終了後には全員で昼食を取りながら交流を深めました。

東城交通安全協会の長谷時男会長は「来年も引き続きこの大会を続けていきたい」と話していました。



▲試合の様子

火災予防を願いみんなで呼びかけ みどり園保育所園児がパレード

REPORT 6



▲戸締り用心火の用心

秋の全国火災予防運動の行事の一環として11月8日、みどり園保育所園児が口和町で防火パレードを行いました。

園児30人と保護者は、備北消防マスコット「トンビ君」と一緒に、あんず薬局から口和保健センター駐車場までの約500mを約1時間かけ

て行進。園児たちは沿道のみなさんの温かい声援を受けながら、拍子木を打ち鳴らし「戸

締り用心、火の用心」と元気よくパレードを行いました。

備北地区消防組合口和出張所の小林勝則所長は「火事は非常に恐ろしく、皆さんも気を付けてほしい」と園児たちに呼びかけていました。



芸術作品にうっとり 庄原市美術展覧会・しょうばら菊花展

REPORT 1



▲きれいに仕立てられた作品

市民の芸術作品が集う第7回庄原市美術展覧会が11月3日～7日、12日～17日の期間、田園文化センターで開催されました。作品は、市内から彫塑1・工芸47・書64・日本画1・洋画23・写真30が出品。

観賞に訪れた人は「すばらしい作品ばかりで見とれて

しまう」と作品を一つ一つじっくりと眺めていました。

11月1日～14日には庄原市民会館で第24回しょうばら菊花展が開催され、個人18人と市内の4小学校から、色鮮やかな美しい菊が出品されました。

観賞に訪れた人は「ここまで立派にするには大変な苦労があったはず」と作品の出来を称えていました。



▲壁一面を覆う力作も

創立30周年を祝う 高野町食生活改善推進員連絡協議会

REPORT 2

高野町食生活改善推進員連絡協議会の創立30周年を祝う会が10月5日、上高自治振興センターで行われました。

同会は「私たちの健康は私たちの手で」をスローガンに、各世代に合った食育活動を推進し、健康学習や調理実習を重ねて食生活改善・運動の普及や地域住民の健康づくり活動を行っています。

当日は、東城町食生活改善推進員連絡協議会20人の出席とあわせ60人が出席しました。

「和南原銭ガールズ」の皆さんによる銭太鼓や東城町食推による「冬のメタボ」寸劇が披露され、最後はみんな

で「これから音頭」に合わせて踊りました。

高野町食生活改善推進員連絡協議会の榎英子会長は「今後もますます地域の健康づくりに頑張っていきたい」と話していました。



▲高野食推前会長堀江陽子さんへ感謝状を授与

人と自然の中で子どもの笑顔輝く 第11回こどもまつり

REPORT 3



▲板橋一心太鼓の力強い演奏

『輪になろう 輝け笑顔! 庄原キッズは元気いっぱい!!』をテーマに10月23日、「第11回こどもまつり」が高原の家七塚で行われ、同時開催の「県立畜産技術センター一般公開」と合わせて、約4,600人の親子連れや一般市民でにぎわいました。

このイベントは、子育て世代を応援しようと、市内の各

団体で構成するこどもまつり実行委員会が企画したもので、板橋一心太鼓の力強い演奏で幕を開けました。

ステージでは、JYOJICLASSの元気あふれるヒップホップダンス、ヨーヨー名人山崎政和さんのパフォーマンスで盛り上がり、会場内では、子育てサークルやボランティアのアトラクション、保育所の保護者や地域の方による手づくり感あふれる体験コーナーで、子どもたちは元気いっぱい楽しんでいました。



▲大人気! ダンボール滑り台

初舞台で堂々と演じる 比和小学校の児童がオペラ「カルメン」に出演

REPORT 10

比和小学校で10月4日、文化庁「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」の一環として、オペラ「カルメン」の鑑賞会が行われました。

この鑑賞会に5・6年生26人を代表して10人の児童が出演。この夏から、発声、歌唱、振り付けの練習を重ねてきました。

約150人の観客が見守る中、第4幕の闘牛場前広場に集まる場面に登場。プロの役者と一緒に見事演じ切り、万雷の拍手を浴びていました。

鑑賞した子どもたちは、迫力ある演奏や歌声、舞台装置など、本物の芸術に触れた一日になりました。



▲カーテンコールで手を上げ応える児童たち

声援を力に大舞台で演奏 国民文化祭に西城琴音会出演

REPORT 11

西城町の大正琴グループ西城琴音会が10月29日・30日の2日間、京都府城陽市で開催された、第26回国民文化祭・京都2011大正琴の祭典に出演しました。

国民文化祭は、全国各地から音楽、舞踊、演劇などさまざまな文化活動を行う個人や団体が集まり、日ごろの成果や実力を披露する日本最大の文化祭で、「大正琴の祭典」には全国から50グループ約1,100人が参加しました。

西城琴音会は、昨年10月に開催された、けんみん文化祭ひろしま'10「大正琴・新舞踊の祭典」の大正琴の部で最優秀賞を受賞し、出演が決定。結成26年目で初の大舞台となりました。

出演した7人は、満員の会場で「望郷酒場」と「異邦人」を堂々と演奏しました。

西城琴音会代表伊達初恵さんは「たくさんの方、知人に応援に駆けつけてもらい、落ち着いて演奏することができた。感謝の気持ちで一杯」と感激していました。



▲演奏する西城琴音会

世界一のもちつきに長蛇の列 総領おいでん祭・庄原みよりの祭典'21

REPORT 12

2年に1度開催される総領町最大の祭り「総領おいでん祭」が10月22日・23日の2日間、田総の里スポーツ公園で開催されました。

今回は「庄原みよりの祭典'21」と合同開催され、2日で約15,000人の来場者でにぎわいました。

会場では、地元団体による「ふるさとステージ」や子どもの遊びコーナーなど多彩な催しが行われ、22日は山川豊さん、23日は水前寺清子さんによるラジオ公開録音も行われました。

23日には、「世界一のもちつき」とも呼ばれる一石餅が登場。長さ7メートルの杵と直径2.2メートル、高さ2メートル、重さ3.5トンの白を使い、一度に150キロのもちを約40人がかりで

つき上げました。つきあがったもちも、並んでいた見物客に無料で振る舞われました。

そのほかにも、総領町の各自治会や町内外の団体による秋の味覚、地域特産物の販売などが行われ、訪れた観光客は秋の総領町を満喫していました。



▲よいしょ！世界一のもちつき

笑顔と元気の輪が広がる 口和健康ふくし祭わいわいフェスタ

REPORT 7

口和自治振興センターで10月10日、第9回口和健康ふくし祭が開催され、約800人の来場者でにぎわいました。

「みんなで集ってワッハッハ わろ～て元気に長生きじゃ」をキャッチフレーズに、参加した町内の32団体が祭を盛り上げました。

会場では体力測定・筋力チェックなどの体験コーナー、ハンドマッサージ・整体などの癒やしコーナー、見て学ぶ展示コーナーが設置。ステージでは園児による神楽や風呂哲夫夫妻によるギター漫談などで盛り上がりました。屋外では地元の団体による味自慢の品々が並

び、恒例となった自治会対抗のフライングディスク大会も盛り上がりを見せました。

今年は新企画として、子どもたちが夢などのメッセージを書いたエコ風船200個を青空に向かって飛ばしました。参加した児童の一人は「誰かの元へ届けばうれしい」と話していました。



▲「メッセージ届け！」とエコ風船飛ばし

乳がん検診で早期発見を ブレストケア・ピンクリボンキャンペーンin 東城

REPORT 8



▲ピンクリボンダンス

東城小学校グラウンドで開催された第29回ふれあい東城まつりで10月16日、乳がんの早期発見・早期治療を啓発するピンクリボンキャンペーンが行われました。

この企画は、ブレストケア・ピンクリボンキャンペーンin東城実行委員会、東城保育所、東城町健康づくり推進員連絡協議会が合同で実施しました。

東城保育所の保育士が中心となり「アンパンマン体操」、「夢をかなえてドラえもん」の音楽に合わせピンクリボンダンスを披露しました。

ブレストケア・ピンクリボンキャンペーンin東城実行委員会代表の近藤久子さんは「乳がんは早期に発見すれば治癒率が高い病気。早期発見のために、定期的な検診と自己検診を！」と呼びかけました。



▲東城保育所職員で結成された吹奏楽団

地域と触れ合う町並み散策に多くの人 東城まちなみぶらり散歩ギャラリー

REPORT 9



▲パッチワーク作品が並ぶギャラリー

10月29日から11月6日までの9日間、街道東城路(東城本町筋)で「東城まちなみぶらり散歩ギャラリー」が開催されました。

城下町の佇まいを生かしたギャラリーでは、町内外の作家の温もりが感じられる手作り人形やパッチワークなどの作品、各家のお宝などが展示されました。

このほか期間中は、伝統行事「お通り」が開催されたほか、ヴィオラ・ダ・ガンバの演奏や水引細工の体験教室

などもあり、市内外から大勢の観光客でにぎわいました。訪れた人は、展示されたさまざまな作品を鑑賞しながら地域の人とのふれあいや交流も楽しみ、思い思いにまちなみを散策しました。

また、東城高校の生徒有志25人が東城応援隊を結成し、訪れた人に見どころや東城の歴史などのガイドを行いました。



▲東城応援隊によるガイド

庄原市からの出品牛が好成績獲得! 広島県畜産共進会

 REPORT 13



▲垣内さんと総合首席を獲得した「かきうち7の9」

第87回広島県畜産共進会(種畜の部)が10月25日、三次家畜市場で開催されました。

庄原市からは27頭が出品され、そのうち肉用種成牛の部に垣内とみこさん(比和町)が出品した「かきうち7の9」が、総合首席となり、農林水産大臣賞を受賞しました。そのほかの出品者および成績は、次のとおりです。

■入賞順・敬称略

●肉用種子牛の部優秀賞

立川道和(東城町)・渡鍋勉(総領町)・沖野利政(東

城町)・松本幸展(西城町)・藤井宏信(西城町)・名越禎一(比和町)・藤本和幸(東城町)・宮尾秀則(東城町)

●肉用種子牛の部優良賞

永田育人(高野町)・大迫晴由(峰田町)

●肉用種成牛の部優秀賞

垣内とみこ(比和町)・大迫晴由(峰田町)・広田美代子(比和町)・段畠覚(戸郷町)・松田吉哲(七塚町)・赤木一超(東城町)庄原農協東城育成センター(東城町)

●肉用種成牛の部優良賞

下奥朋則(高野町)・(農)有田牧場(東城町)・瀬尾俊昌(東城町)

●乳用種1区優秀賞

庄原実業高校(西本町)・藤本雄紀(大久保町)・赤木猛(峰田町)

●乳用種2区優秀賞

和田慎吾(東城町)・前谷隆博(一木町)・藤本雄紀(大久保町)

●乳用種2区優良賞

赤木猛(峰田町)

みんなで積み上げた「らぶれんが」 県民の森で出会いイベントが開催

 REPORT 14



▲みんなでつくった「らぶれんが」石窯

庄原市男女の出会いサポート実行委員会主催の出会いイベント「みんなでドキドキ石窯づくり～レッツつみあげ☆らぶれんが～」が9月10日、10月1日、11月5日の3日間、ひろしま県民の森で開催されました。

今回は初めての試みとして、同一メンバーで3回集まるシリーズ企画として実施。市内の独身男性と広島市などから集まった独身女性各15人が、石窯づくりやトレーニングなどを通して、2カ月にわたる仲を深めていきました。

最終回の11月5日には、口和そばの会の指導のもと、新そばを使ったそば打ち体験を行い、みんな

なでつくった石窯でピザを焼きました。

最後は、見事4組のカップルが成立。

主催者は、カップルになった皆さんがさらなる幸せをつかんでほしいと願っています。



▲みんなで楽しくピザづくり